ウォーキングだより NO. 220

2023. 11 月
発行：スポーツ連盟三重　ウォーキングクラブ　　発行責任者：井岡大義

○10 月の例会報告

◇28 日(土) 高野山町石道

【参加者】浅尾、石田、伊藤(孝)、井岡(智)、井岡(大)、大久保、岡田、北川、木村、清水、仲、西村、新田、丸林　　外）竹上、松田　　計）16 名

なにせ高野山は遠かった。中川駅発 7:11 分の特急で出発。八木、橿原神宮、古市と乗り換え、河内長野で南海電鉄に乗り換え橋本へ。橋本で車組の 3 人と合流し終点の極楽橋駅へ。更に急傾斜のケーブルカーで高野山駅へ登り、ここからバスで千手院橋バス停へ。高野山内散策の二人と別れ、11:10 分千手院橋バス停を出発。町石道が目的のため山内の名所（金剛峯寺や壇上伽藍など）は横目にするだけで大門を目指します。ただ途中の紅葉の美しさには歓声があがりました。11:32 分大門に到着、ここから下りに入ります。

高野山町石道は根本大塔を起点として、麓九度山の慈尊院まで五輪塔形の石柱が 1 町(約 109m)ごとに 180 本、道標として立っている約 20 キロの表参道で、櫻池院前に 1 町石があります。弘法大師空海が開山のおりに、道しるべの木造の卒塔婆を立てたのがその起源で後に石造りに改められました。今回はその三分の一ほど、矢立まで歩きます。

最初のうちは急な下りが続きますが、時々上りもある地道の楽しいコースで町石を確認し数えながら歩きました。ただ途中数ヶ所の橋は古く朽ちかけたところがありおっかなびっくりで渡りました。緑の木々に覆われた素晴らしい自然の中を歩くと「さすが聖地、心が洗われる」という声が聞こえます。12:51 展望台の東屋で昼食。ここからは又石ころだらけの急な坂道を下り、押上石、袈裟掛石などを見て 13:55 分、60 町石の矢立に到着。こ

大門前で

こで町石道と別れ、自然歩道を紀伊細川駅に向かい、14:45 分、無事紀伊細川駅に到着。帰りは難波経由で「ひのとり」で帰路につきました。天気にも恵まれ、高野山町石道歩きと、いやになるほど電車乗り換えを楽しめたプチリッチ例会でした。　（井岡大義）

○11 月の例会報告

◇3 日(金・休) 観音寺城・きぬがさ山

【参加者】浅尾、伊藤(孝)、伊藤(ま)、井岡(智)、井岡(大)、川北、木村、辻岡、仲、西村、新田、濵口(和)、濵口(安)、別所、宮本、丸林　　計）16 名

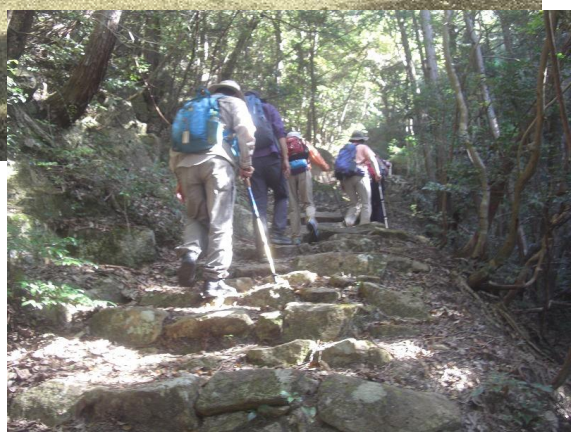
【コース】安土駅―桑實寺―観音寺城跡―繖山三角点―観音正寺―安土駅

晴天、11 月と思えぬ暖かさというより暑さの中、近江国守護佐々木六角氏の居城跡・観音寺城跡、繖山(きぬがさやま)を歩きました。

亀山発 8:03 分に乗り柘植、草津を経由して安土駅へ。車組と安土駅で合流して 10 時ウォーク開始。出発早々道を迷い 20 分ほどタイムロス。加賀団地口交差点から田んぼの中の道を進み 10:50 桑實寺への登り口へ。ここから 500 段ほどの階段をフーフー言いながら登り 11:15 桑實寺到着。桑實寺は開創

桑實寺にて

1300 年、養蚕を伝えたのでこの名がついたと言われている西国薬師霊所第 46 番です。ここで参拝・入山料 300 円を払い更に山頂目指し急坂の山道を登ります。「休ませて」の声が出始めた 11:55 分、観音寺城跡本丸へ到着。



一休み後、少し下って繖山山頂へとの分岐点から急坂を喘ぎながら登り 12:20 分、繖山三角点（433m）に到着し、ここで昼食に。食後、12:45 出発し、尾根伝いに下り、13:15 観音正寺に到着。観音正寺は 1400 年前、聖徳太子が人魚の哀願によって寺を開いたといわれる、人魚伝説の残る寺で西国観音霊場第 32 番札所。日本最大の総白檀丈六千手観世音菩薩は圧巻です。ここから 1,200 段の階段を下り、嫌になるほど階段を堪能しました。途中の教林坊は紅葉が期待できないのと時間の関係でカット。無事階段を降りた後、ひたすら安土駅を目指し、15:05 分、無事安土駅に帰着し帰路につきました。

繖山全体を城域とする山城・観音寺城跡は山城としては日本一の規模といわれ、日本百名城の一つなのは歩いて充分納得できましたし、満足のウォークの余韻に浸っての帰路にハプニングが。なんと柘植駅ホームで火災があり、甲賀駅で 30 分も足止めされたのです。お陰で帰路予定が滅茶苦茶に。最後に味噌をつけた 1 日でした

（追申）繖山三角点で昼食時、西村さんが「前回(2019 年)ここで昼食を食べた」と言うのを「ここには来ていない」と私(井岡)が否定。帰宅後ニュースを確認したところ西村さんが正しかったことが判明。満座で西村さんに恥をかかせたことを深くお詫び申し上げます。本当にごめんなさい。　(井岡大義)

◇13 日(月）雲林院城・河内渓谷(紅葉)

【参加者】和泉、伊藤(孝)、伊藤(ま)、稲富、井岡(智)、井岡(大)、川北、北川、木村、豊田、仲、西村、新田、濵口(安)、藤崎、別所、前坂、松田、丸林　　計）19 名

【コース】長徳寺駐車場―美濃夜神社―林光寺―雲林院城―忍田橋―研ぎ石―長徳寺駐車場

いつも弁当なし外食の例会には参加者多数です。今回も午前ウォーク後、湖水荘で昼食の予定でしたが、団体客の予約ありということで断られ、参加予定者に連絡。昼食を楽しみにした人のキャンセルがあると思っていましたが、なんと一人もキャンセルなし。さすがは三重ウォーキングクラブのウォーカーです。

9:10 分、集合場所の長徳寺駐車場を出発。美濃夜神社を参拝し林光寺へ。ここで河内渓谷の紅葉狩りをするプラチナ組と別れ、寺脇の雲林院城登り口へ。最初から急坂で、しかも「道」というより「道なき道、人が歩いた跡」というのがふさわしいような狭い道を喘ぎながら登ります。下道を歩いている時は、今年一番の冷え込みと強風で寒かったのですが山中は木立が生い茂り風を遮るた

め寒くなく少し汗ばむほどです。9:45 分、雲林院城の主郭に到着し一休み。ガイド会の整備がまだのため草ぼうぼうでした。南側の城郭も制覇し西端の林道を下り 10:25 分、門前が淵・忍田橋へ。例年ですとこの時期見事な紅葉が迎えてくれるのですが、今年は暑い日が続いていたせいか少し色づいてきたところで紅葉狩りとはいきませんでした。川沿いに上流に 300m ほど進んだところの「研ぎ石」を見て本日の例会は終了。10:40 分、長徳寺駐車場に帰着し解散しました。11 時前に終わった例会は初めてでしたが冒険心もくすぐられる楽しいコースでした。　　（井岡大義）

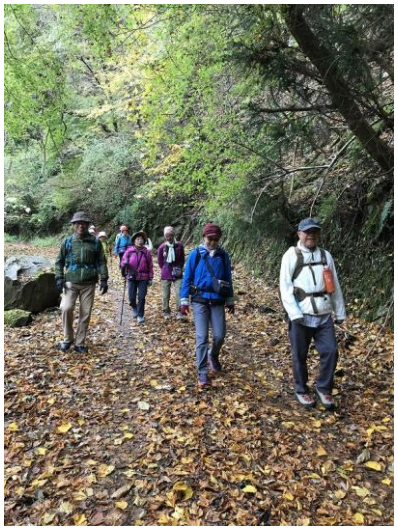
【プラチナ組の報告】

11 月 13 日、鈴鹿組二人で 8 時集合出発。9 時前、以前には整備されていなかった長徳寺駐車場に着く。久しぶりに、皆さんの変わらないお姿にお会いして、元気になれたと実感しながらとても嬉しかったです。美濃夜神社までご一緒して「ベッピンさん」に加わり、プラチナ組 5 人はもと来た道を忍田橋へ、忍田橋で橋横の観光用のコーナーへ。観覧位置では橋とモミジは手前の木の枝でバツ。少し手前で 3 分程紅葉したモミジと橋を鑑賞。「少し早いけど谷の水も橋もモミジも朝日に輝き綺麗ね。」と先ずは幸先良し。先生の助言に従い川の右岸の直ぐ横の草道を行く。10 分ほどして大きな一枚岩の「砥ぎ石」。ここで昔の人は刃物を砥いだのかな？残念ながら三体の地蔵菩薩は確認できなかった。次は雲林院井堰を探したが道は草で見つけられず土手を上がり戻り長徳寺へ。私は以前歴史関係の集まりで来ていたので案内したが、籠の鱗が納められた石の灯籠のような岩に窪みがあるだけで鉄の扉が無い。絶対間違いないと堂を開けていた人を呼び尋ねたら「無住なので数年前、泥棒が本尊や涅槃図などを持ち去った。」との事。「「塚原卜伝」の位牌を見せてもらいましたが「金目にならない位牌や残された鱗は他で保存しています。」との事。数百年大事にされた古物が、なんという世相だと嘆げかれた。そこへ地元のボランティアガイドが数人みえた。鈴鹿の団体が湖水荘で昼食するので我がチームはキャンセル。私の説明よりはとお話を依頼。快く寺や龍王桜の話を聞き、若葉も美しい真っ白な龍王桜の写真を見せてもらった。井堰の場所も教えてもらい、忍田橋まで戻り対岸の旧道を 12～5 分行くと石でも岩でもない何処にでも見られるコンクリートの井堰が川にかかっている。道の反対側の草むらの土手に「史跡雲林院井堰跡」と刻まれた石柱が立っていると教えられていなかったら見逃していただろう。これで本日の予定は終了。こんどは空腹を満たしに芸濃インター近くの中華料理店へ行き、「今日は良いウォーキングだったね。」と解散。　　（稲冨節子）

◇16 日(木) 馬野渓谷

【参加者】浅尾、和泉、伊藤(孝)、伊藤(ま)、稲富、井岡(智)、井岡(大)、川北、木村、西村、新田、濵口(安)、藤崎、別所、丸林　　計）15 名　約 10 キロ

【コース】馬野渓谷入口～自衛隊上水道取水地～馬野渓谷入口



今日のコースは、昨年夏に歩いたとき、渓谷沿いに紅葉する木がたくさん見られることから是非とも紅葉の季節に来てみたいとの皆の声で実現したコースです。

7：45 河芸駐車場に集合し、2 台の車に分乗し出発、途中、新大仏寺駐車場で全参加者合流、本日の参加者の顔合わせを行い、山門前で最初の別嬪さん撮影、ここでプラチナ組は分かれ別行動。車 4 台に分乗し出発、途中布引支所にてトイレ休憩し馬野渓谷入口に到着。天気予報では、晴れ午後から曇りとの天気予報でしたが、上天気のウォー

キング日和となり、少し寒い中準備を整え 9：30 出発。ひたすら舗装された坂道を登り、新水力発電所に到着、ここで小休止。このあたりから少し色着いた紅葉がちらほら、さらに歩みを進め渓谷に沿って歩くと、少しずつ色づいた紅葉が目立つようになる。また、進めていく道は幻想的な落ち葉の絨毯が続き、踏み荒らされていないフカフカの遣を歩くのも粋なもの。疲れがピークになるころ、コース終点近くの自衛隊笠取山基地の施設近くに架かる橋に 11：00 到着、ここでも別嬪さん撮影。前回はここで早い目の昼食タイムとしたが、今回は、ここで引き返すこととする。30 分ほど下り、日当たりの良い少し広い場所で昼食タイムとする。帰りは、行きとは打って変わり、下りの連続で自然と早足になる。12：30 朝の出発点に戻り、布引支所にてトイレタイム後解散。14：30 頃河芸駐車場に到着しました。

期待した紅葉は少し早すぎたようでしたが、天候に恵まれ、快適なウォーキングとなりました。全線を通し歩いているのは我らのグループのみで、出会った車も 1 台のみ、落ち葉の絨毯でふかふかの、まるで我らの専用道路のようなコースを満喫しました、みな様ご協力ありがとうございました。

（濱口安光）

【プラチナ組の報告】

新大仏寺は 30 年ぐらい前、亡母と行った時、住職が見えず重要文化財の「阿弥陀如来佛」拝見していなかったので、いい機会だと「お寺だけですが、プラチナ組として参加したい」の希望を認めてもらい鈴鹿から名阪国道経由で約 1 時間余り、9 時前寺の駐車場に着く。みんなが集合した時、次が無いかもしれないと勝手な申し出で「ベッピンさん」に加わる。以前はあまり興味がなかったが、偶然兵庫から見学にきていた人から「7 か所の東大寺別所の残っている 2 か所の一つなのに、大事にされていないみたいですね」と言われたことが記憶され、また背後の岩に彫られた大きな不動明王をもう一度見たいと、以前にはなかった朱色の自動事のお祓いの塔を横目に事務所へ行く。「大仏様を拝見したい」と申し込むと一人 300 円の入館料で宝物殿に案内される。他に誰もいないので鍵をぶら下げたまま「ごゆっくり」と離れられた。二人だけ。火災で寺が消失したとき残った快慶作お顔とその後藤堂藩や地元力で再現された木造の阿弥陀如来佛、鎌倉時代に東大寺再建に尽くした俊乗房重源像（東大寺にある像と同じ）など心ゆくまで鑑賞して外へ。係りの人が戻ってみえたので礼を言って戻る。立派な大仏殿と重源堂があったので、宝物殿に

ご本尊が安置されているので、「中にはなにを？」とたずねるとご本尊が安置されているとのとの事、ちょっとためらったが追求せずに岩屋の方へ。以前は拝殿が無かったが、立派な拝殿があり近づけない。朝日が横からさし、それなりに尊く見える。帰り際寺の人に以前は拝殿が無かったが、と尋ねると 30 年ぐらい前に建てられたと言う。近づけられないのは非常に残念だが、単なる史跡から信仰の対象になったと言えようと思った。母が健在だった頃よりは、世の中は豊かになり史跡が保護されるようになったのだと時代の流れを実感した。20 分余り走り、道路際の摩崖仏 5 体を見て帰路についた。お天気も良くあまり歩かなかったが、今日も良いウォーキングだった。　（稲冨節子）

○12 月の例会　集合場所・時間

12 月のコースは町中なので全コースプラチナ組参加可能です。

◇3 日(日) 北野天満宮ときぬかけの路

集合場所・時間：亀山 8:03、関 8:10 発で柘植、草津を経由し京都へ　　要弁当

山陰線の円町駅下車です。弁当の準備が困難な人、京都駅で弁当購入可能です。コースには多くの神社仏閣がありますが、基本的に前を通るだけですのでそのつもりで。北野天満宮、今宮神社、妙心寺は中を横切ります。

◇7 日(木) 岡崎・山中城跡

集合場所・時間：名電山中駅 10:35　　要弁当

名鉄名古屋発 9:33 特急豊橋行きに乗り、東岡崎で乗り換え名電山中駅へ（近鉄急行津発 8:16、白子発 8:27、伊勢若松発 9:25 が名古屋着 9:25)。西三河を代表する戦国時代の山城、標高 200m の山中城に登ります。今年の大河ドラマ「どうする家康」の岡崎城にも立ち寄ります（岡崎城・家康館 共通券 890 円)。

◇13 日(水) 伊勢街道（鈴鹿―河芸）

集合場所・時間：近鉄鈴鹿市駅 9:30　　要弁当

近鉄津発 8:56、白子発 9:11、伊勢若松発 9:19 がお勧めです。6 月に予定して雨のため中止になったコースです。伊勢街道シリーズ第二弾で豊津上野駅までの平坦な約 15 キロです。

◇23 日(土) 忘年会

集合場所・時間：11:30 炉庵

昨年同様、「炉庵」で開催します。例年同様、**集中ウォーク**としますので、各自コースを考案してください。会費は 2,000 円で、飲み代は各自負担になります。人数制限がありますので早めに申し込んでください。「炉庵」は「アスト津」地下です。

○集中ウォークとは

全員の集合場所を決め、出発点は各自の都合で決めます。コース、時間設定をして予定通りに歩けたか確認します。距離の長短は問いません。皆が例会コース策定出来るための練習です。今回は忘年会会場の炉案が集合場所です。

次回運営委員会　　12 月　19 日　（　火　）（　p.m.3 時　）　　河芸井岡宅